

茨城大学学生による地質情報を活用した茨城県における地域振興 Ibaraki university student' s regional contribution by using geological information in Ibaraki Pref.

*渡部 将太¹、大友 眞太郎¹、小関 敏史¹、柴田 翔平¹、菅原 慎吾¹、古屋 海砂¹、小荒井 衛¹

*Shota Watanabe¹, Shintaro Otomo¹, Toshifumi Koseki¹, Shohei Shibata¹, Shingo Sugawara¹, Misa Furuya¹, Mamoru Koarai¹

1. 茨城大学

1. Ibaraki University

茨城大学地質情報活用プロジェクトは、地球科学を通しての地域振興に興味のある茨城大学の学生からなるプロジェクトである。本プロジェクトは一般の方々には馴染みの少ない地質情報を活用した地域振興を目指し、茨城県内のジオパークに関する学術的サポートを主として活動を行っている。

2017年度までに、本プロジェクトは茨城県内の15箇所において「地質観光マップ」を作製し、それを用いたジオツアーを行ってきた。さらに茨城県北ジオパーク推進協議会の運営委員会に加わり、マップや看板の作製、ジオツアーの補助などを行ってきた。2017年度は特に茨城県が主催する観光企画コンテスト「ディープいば旅コンテスト」の出展に力を入れた。本コンテストでは、茨城県北ジオパークと筑波山地域ジオパークのジオサイトの観光企画を提案し、両ジオサイトが優秀賞を受賞することができた。このように本プロジェクトはジオパークにおける活動に力を入れており、日本ジオパーク委員会からも高い評価をいただいている。

しかし残念ながら茨城県北ジオパークは昨年度にジオパークの認定取り消しとなってしまった。地質情報活用プロジェクトは運営委員会の一員として茨城県北地域が再び日本ジオパークに認定されるために、地質観光マップの修正など地質的・学生目線の情報を提供していく。また、筑波山地域ジオパークとも連携していき、新たな活動の幅を広げ、ジオを通してさらなる地域活性化を目指していく。

キーワード：茨城県北ジオパーク、筑波山地域ジオパーク、地域振興、地質情報

Keywords: North Ibaraki Geopark, Mt. Tsukuba area Geopark, Regional Contribution, Geological Information